

会 議 議 事 録

1	会議名	平成29年度長岡市公立学校通学区域審議会
2	開催日時	平成30年2月13日（火曜日） 午前10時から午前11時10分まで
3	開催場所	さいわいプラザ 4階 大ホール
4	出席者名	<p>(委員)</p> <p>佐藤恭一委員長 小宮山多恵子副委員長 長谷川和明委員 河田吉之助委員 本田史朗委員 田村優子委員 荒木清太郎委員 今井邦康委員 吉田隆夫委員 石黒佳子委員 松井麻里委員 池原百合子委員 羽鳥仁一委員 竹内竜成委員 星野紀子委員 三角幸恵委員 丸山吉次委員 大矢慎一委員</p> <p>(委員以外の出席者)</p> <p>高橋教育長（途中退席） 金澤教育部長</p> <p>(事務局)</p> <p>佐藤学務課長 中山学務課長補佐 米山学事係長 小林学事係主査 鈴木学事係主事</p>
5	欠席者名	<p>古川絹子副委員長 田村恵子委員 五十嵐俊子委員 長谷川朗委員 後藤恭司委員 佐藤博文委員 小片真紀委員 樺澤和幸委員 佐藤義尚委員 上村光一委員</p>
6	議題	<p>(1) 委員長、副委員長の選任について</p> <p>(2) 報告事項</p> <p style="padding-left: 20px;">① 規則の改廃について</p> <p style="padding-left: 20px;">② 学校規模適正化について</p>
7	審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議題(1)について、委員長に佐藤恭一委員、副委員長に古川絹子委員、小宮山多恵子委員が選出された。 ・ 議題(2)について報告がされた。

8 審議の内容	
事務局	任期最初の会議なので、自己紹介をお願いしたい。
委員	東中学校には6小学校の児童が集まるが、生徒数は減少している。この場を通じて、市全体の教育環境を考える機会としたい。
委員	子どもたちの数が少ないことに悩んでいる。今後、子どもたちの教育環境がどうあるべきかを考えていきたい。
委員	栖吉中学校区は小学校1校、中学校1校である。以前には、この環境では活力が生まれにくいのでは、という声も地域からあったが、それぞれが連携して様々な取り組みを行っており、とても良いと感じている。
委員	東北中学校は市内でも規模が大きく、学校の在り方を最も考えなければならぬ地域なのでは、と思っている。
委員	江陽中学校区は3小学校が集まり、児童も徐々に増えつつあるが、今後空き家が多くなっていく状況であるため、学校区としてどのような活用をしたらよいのか考えている。
委員	堤岡中学校区は、市内においても規模の大きい黒条小学校があり、新組小学校と黒条小学校の児童が集まる。
委員	山本中学校区では小学校が2校あるが、複式学級がある。昨年4月、部活動理由で学区外就学した生徒がいたため、少ない人数が更に減ってしまった。保護者の中でも、先生が目が行き届いて良いという意見もあれば、何とかしなければという意見も出てきている。学校は地域のシンボルという位置付けもあるが、保護者の考え方を取り入れながら、今後どうすべきかを討議していくべき、という状況である。
委員	岡南中学校区では、六日市小学校と山谷沢小学校が統合して、ようやく4月に岡南小学校としてスタートする。六日市小学校の児童が山谷沢小学校に通うことになるが、準備はスムーズに行ったと思う。
委員	関原中学校区は小学校1校、中学校1校で、関原小学校の児童がそのまま関原中学校に上がる形である。十数年前は大変人数が増えて各学年4クラスくらいになったが、現在は落ち着いて、各学年3クラスになっている。
委員	旭岡中学校区は小学校2校、中学校1校である。豊田地区が開発の真っ最中で、現在の小学校1年生が旭岡中学校に入る頃には教室が足りないのでは、という状況である。
委員	越路地域は小学校2校、中学校1校である。先日の大雪でスクールバスの到着が遅れ、子どもたちが待たされたが、地域の皆様のお蔭で、安全に登校することができた。

委員	<p>小国地域では昨年4月に3小学校が統合され、小学校1校、中学校1校になっている。昨年6月に小学校を視察したが、先生方の御苦勞から、子どもたちが落ちついて授業を受けているのを見ることができた。</p>
委員	<p>和島地域は、かつての桐島村・島田村の合併直前に中学校ができたので、いずれの名前も使わず、校名を募集して北辰中学校となった。現在の和島小学校も、複式学級は避けようということで統合に至った。現在は小学校1校、中学校1校で、少子化は避けられないが元氣は無くさないようにしよう、ということで活動している。</p>
委員	<p>寺泊地域は、小学校2校、中学校1校だが、児童数が少なくなっており、今後、統合なども視野に入れる必要があるのでは、と感じた。新1年生は両校とも20人程度で、中学校に上がっても1学年50人程度と規模は小さい。他校のように大人数の中で競い合うなかで、学力や部活動などが向上していくのかと思うと、寂しい気持ちもある。</p>
委員	<p>栃尾地域は中学校2校で、それぞれ規模は大きい、小学校では少人数で、中学校に入っていくなりいろいろな学校からの児童と交流することになるため、学校なりにいろいろな工夫をして、入学後スムーズに学校に慣れるような取組をしてもらっていると思う。</p>
委員	<p>与板地域は小学校1校、中学校1校である。自分の町内の子どもたちは路線バスで通学しているが、この大雪でバスが遅れ、自家用車で送迎が続いた。他の町内はスクールバスが運行するなど形態が違うため、今後の在り方について小学校などに申し出たほうがいい、という話をしていたところである。</p>
委員	<p>市内には小学校が57校あり、来年度は55校になる。地域から支えられて教育活動が展開されることに感謝申し上げる。小規模校から大規模校までであるが、それぞれの規模をプラスに考えて、地域の力添えをいただきながら工夫した活動をし、地域に元氣を与えることも学校の大事な役割だと思っている。</p>
委員	<p>市内には27中学校があり、規模の大小はあるが、定期的な校長会において情報交換している。どの校長も、地域に根差した特色ある教育をやるんだ、という自覚をもって学校運営をしている。</p>
事務局	<p>表彰の報告をさせていただく。多年にわたり本審議会委員として尽くされた功績から、旭岡中学校区の小宮山多恵子委員が平成29年度長岡市表彰を、昨年10月の改選で退任された中之島中学校区の丸山正一前委員が平成29年度長岡市教育委員会表彰を受賞されたことを、ご紹介させていただく。</p>

	<p>引き続き、議題に入りたい。最初に役員の選出を行うが、委員長1名、副委員長2名について推薦等はあるか。</p> <p>(推薦なし)</p> <p>事務局に腹案があるが、提案してよいか。</p> <p>(異議無し)</p> <p>前期に引き続き、佐藤恭一委員に委員長を、古川絹子委員、小宮山多恵子委員に副委員長をお願いしたいがどうか。</p> <p>(異議無し)</p> <p>また、委員長、副委員長が不在の場合の職務代行者について、委員長から指名をお願いしたい。</p> <p>東中学校区の長谷川和明委員をお願いしたい。</p> <p>それでは、以下の議題については、委員長から進行をお願いしたい。</p> <p>それでは、議題(2)の①規則の改廃について事務局から説明をお願いしたい。</p> <p>(資料No. 1により説明)</p> <p>分校の廃止について、地域はどんな状況か。</p> <p>世帯数としては1世帯だが、町内会があり、廃止について同意をいただいて、このたびの規則改正となった。</p> <p>それでは、議題(2)の②学校規模適正化について事務局から説明をお願いしたい。</p> <p>(資料No. 2により説明)</p> <p>六日市小学校と山谷沢小学校の統合の経過等についてお話いただきたい。</p> <p>今から4年くらい前、今後の児童数について町内会長に示した際、まだ他人事といった雰囲気であったが、六日市小学校での複式学級をきっかけに議論が進み、2年くらい経過して話がまとまった。</p> <p>中野俣小学校についてはどうか。</p> <p>中野俣小学校には素晴らしい伝統があって、例えば、伝統芸能である「廣大寺」という踊りを地域の方々と一緒になって取り組んでいる。何をやるにも地域の方々と一緒に、地域の方々が応援・尊重してきた</p>
委員長	
事務局	
委員長	
事務局	
委員長	
事務局	
委員長	
事務局	
委員長	
委員	
委員長	
委員	

<p>委員</p> <p>委員長</p>	<p>学校なので、栃尾南小学校への統合については地域の方々が一所懸命考えてきたと思う。これまで栃尾南小学校と交流を深めてきたので、スムーズに移行できるのではと思っている。一方で、中野俣小学校で守ってきた伝統や文化をどのように継続していけるのかが、今後の課題だと思う。</p> <p>一番苦労したのは、祖父・祖母世代の「なぜ、自分の母校が無くなるのか」というギャップを埋めることだった。</p> <p>以上で、議事を終了し、進行を事務局にお返しする。</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>